

ISSN 1881 - 980X

一般社団法人日本科学教育学会
Japan Society for Science Education
発行：中山 迅
事務局：中西印刷株式会社 学会部内
URL：<http://www.jsse.jp>

.....
2017.2.15

NO.231
.....

科学教育研究レター



目 次

■ 学会賞 2	■ 若手活性化委員会だより 13
2017年度学会賞候補者の募集		「2016年度日本科学教育学会第4回 研究会」報告	
■ 年会 4	日本科学教育学会第41回年会 若手 ワークショップ&懇親会予告	
第41回年会開催案内(第3次)		■ 編集委員会だより 15
■ 支部・研究会だより 7	『科学教育研究』編集状況報告	
2016年度研究会開催のお知らせ		■ 広報委員会からのお知らせ 16
■ 国際交流委員会だより 8		
国際学会開催情報			
国際学会参加報告(39)			

公示

2017年度学会賞候補者の募集

一般社団法人日本科学教育学会 大塚賞，同学術賞，同国際貢献賞，同論文賞，同科学教育実践賞，同功労賞，及び同奨励賞の候補者を下記により募集します。会員の皆様からの多数の推薦をお願い申し上げます。

1. 推薦期限

2017年（平成29年）5月15日（月）（必着）

2. 推薦資格

- (1) 推薦者は会員とする。
- (2) 会員は，各賞について，それぞれ1件のみ推薦できる。
- (3) 各賞の候補者の推薦は他薦のみとする。
- (4) 推薦者は，推薦書の様式を学会ホームページ（「各書式」からダウンロードできます）で，入手の上，その様式にしたがって作成した推薦書を学会事務局に提出する。

3. 受賞資格

- (1) 大塚賞：科学教育に関する著しい業績や貢献によって本法人の発展に寄与した会員とする。なお，本賞の受賞は1度限りとする。
- (2) 学術賞：科学教育において先導的・開拓的な業績や功績を挙げ，科学教育の発展に寄与した会員とする。対象となる業績や功績は，原則として，推薦期限の日から過去10年以内のものとする。なお，本賞受賞後さらに顕著な業績や功績をあげた場合には，その部分について受賞対象とする。
- (3) 国際貢献賞：科学教育の国際貢献・国際協力研究に関して顕著な業績や功績のあった会員とする。対象となる業績や功績は，原則として，推薦期限の日から過去5年以内のものとする。なお，本賞受賞後，さらに顕著な業績や功績をあげた場合には，その部分について受賞対象とする。
- (4) 論文賞：科学教育に関する優れた研究を行い，その成果を「科学教育研究」に論文として発表した会員とする。対象となる論文は，原則として，推薦期限の日から過去3年以内に発表されたものとする。なお，本賞受賞後さらに優れた論文を発表した場合には，その論文について受賞対象とする。
- (5) 科学教育実践賞：科学教育の実践研究に関して顕著な業績や功績のあった会員，または，会員との連携により，科学教育に従事し，顕著な業績や功績のあったグループとする。対象となる業績や功績は，原則として，推薦期限の日から過去3年以内のものとする。なお，本賞受賞後さらに顕著な業績や功績をあげた場合には，その部分について受賞対象とする。

- (6) 功労賞：学会の管理・運営を通じて学会活動の充実・発展に寄与した会員とする。なお、本賞の受賞は1度限りとする。
- (7) 奨励賞：科学教育に関する優れた研究を行い、その成果を「科学教育研究」、「年会論文集」、「研究会研究報告」に発表した若手の会員とする。対象となる論文等は、原則として、推薦期限の日から過去2年以内に発表され、受理の時点で39歳以下のものとする。なお、本賞の受賞は1度限りとする。

4. 受賞件数

各賞の受賞件数は特に定めない。

5. 選考

会員からの推薦に基づいて、学会賞選考委員会が候補者を選定し、理事会が決定する。

6. 賞

- (1) 本賞は賞状とする。
- (2) 賞の贈呈は、2017年度代議員総会において行う。

7. 備考

論文賞の対象は、「科学教育研究」Vol. 38, No. 2以降に掲載の論文とする。また、奨励賞の対象は、「科学教育研究」Vol. 39, No. 2以降、「研究会研究報告」Vol. 29, No. 4以降及び第39回・第40回年会論文集に掲載の論文等とする。

第 41 回年会 開催案内 (第 3 次)

1. 日程 : 2017 年 8 月 29 日 (火) ~ 8 月 31 日 (木) (3 日間)

2. 会場 : サンポート高松

〒760-0019 香川県高松市サンポート 2 番 1 号

(<http://www.sunport.or.jp/>)

3. スケジュール概要

- 29 日 (火) 午前 : 課題研究発表・一般研究発表
 午後 : 課題研究発表・一般研究発表 / インタラクティブセッション
- 30 日 (水) 午前 : 課題研究発表・一般研究発表
 午後 : (代議員総会) / シンポジウム / 懇親会
- 31 日 (木) 午前 : 課題研究発表・一般研究発表
 午後 : 課題研究発表・一般研究発表

4. 内容 : 次の内容を予定しています.

- (1) シンポジウム
- (2) 課題研究発表
- (3) 一般研究発表
- (4) インタラクティブセッション
- (5) その他の企画 : 代議員総会, 懇親会, 若手ワークショップ, 各種会合など

※年会のタイムテーブルは, 2017 年 3 月 18 日 (土) の理事会以降に年会 Web サイトにて公開
予定.

5. 発表申込等について

- (1) 課題研究発表の申込・原稿提出 特定のテーマについて徹底的に議論できる場とする. 企画をお持ちの方はご応募下さい.

<スケジュール>

- ・企画受付締切 : 2017 年 5 月 2 日 (火) 【オーガナイザー→年会企画委員会】
- ・受理審議 : 2017 年 5 月 8 日 (月) ~ 5 月 11 日 (木) 【年会企画委員会】
- ・審議結果報告 : 2017 年 5 月 12 日 (金) 【年会企画委員会→オーガナイザー】
- ・原稿提出期間 : 2017 年 5 月 22 日 (月) ~ 6 月 30 日 (金) 【オーガナイザー→アップロード】

※6月30日は、登壇者がオーガナイザーに提出する期限ではなく、オーガナイザーが登壇者全員の原稿をとりまとめて年会企画委員会に提出（Web ページからアップロード）する期限であるため、注意してください。

<企画応募方法>

Web システムを利用した申込を行いません。詳細については、課題研究の Web ページをご確認ください。

<応募に当たっての留意事項>

- ・オーガナイザー資格：会員でなければなりません。
- ・登壇者：登壇者を企画受付締切までに確定してください。課題研究発表での登壇は1回とし、登壇者の重複はできません。登壇を依頼される場合には、当該登壇者が他の課題研究発表と重複ができない点を周知・確認した上で確定するようにしてください。なお、登壇者とは別に指定討論者を立てる場合には、申請用紙に記入してください。指定討論者については、重複を認めます。
- ・登壇者資格：登壇者は会員、非会員を問いません。ただし、非会員による発表件数は、原則として当該課題研究における全発表件数の半数を超えないものとします。やむを得ずに半数を超える場合は、企画受付締切までにその理由を申請用紙に添えて申し込んでください。非会員の発表件数が全発表件数の半数を超えた場合で理由書の添付されていない企画は受理されません。非会員の発表件数が当該課題研究における全発表件数の半数を超えている企画について受理するかどうかは、年会企画委員会で審議します。なお、受理された企画であっても、受理後に登壇者の変更がなされ、非会員による発表件数が当該課題研究における全発表件数の半数を超えた場合、受理が取り消される場合もありますので、ご留意願います。

(2) 一般研究発表・インタラクティブセッションの申込・原稿提出

<申込及び原稿提出の期間>

2017年5月22日（月）～6月30日（金）

※申込と原稿提出を同時に行ってください。

※期日等に変更が生じた場合は、学会 Web や科学教育研究レターなどで通知します。

<申込及び原稿提出方法>

申込者が直接、申込用の Web ページからアップロードしてください。詳細は、「日本科学教育学会 年会論文集執筆要領」をご覧ください。

<資格・登壇可能件数>登壇者は会員でなければなりません。

登壇者として申込可能な一般研究発表・インタラクティブセッションの件数は、各1件です。なお、一般研究発表・インタラクティブセッションの登壇者は、課題研究、その他の企画にも登壇することができます。

<発表時間>

一般研究発表の持ち時間は20分（発表15分、質疑・討論5分）です。インタラクティブセッションは2時間の発表時間を設定する予定です。

※本欄における「会員」とは、学会事務局が入会申込書の受付を済ませていることを意味します。ただし、各種発表の申込締切日と年会開催日程が学会の事業年度（毎年7月1日から翌年6月30日）をまたぐため、入会申込書の受付を済ませた者の入会時期（入会手続きの完了時期）については、各種発表の申込締切日の年度ではなく、年会が開催される新年度からの入会でも可とします。

6. 連絡先：日本科学教育学会第41回年会実行委員会

〒761-0396

香川県高松市林町 2217-20

香川大学総合情報センター（工学部分室）

林 敏浩

E-mail : hayashi [at mark] eng.kagawa-u.ac.jp

7. 年会実行委員会

【実行委員長】林 敏浩（香川大学），【副委員長】笠 潤平（香川大学），【実行委員】村井 礼（香川大学），八重樫理人（香川大学），後藤田中（香川大学），藤本憲市（香川大学），秋田美代（鳴門教育大学），佐伯昭彦（鳴門教育大学），早藤幸隆（鳴門教育大学），金児正史（鳴門教育大学），隅田学（愛媛大学），大橋淳史（愛媛大学），中城 満（高知大学）

8. 年会企画委員会

【委員長】松寄昭雄（埼玉大学），【副委員長】瀬戸崎典夫（長崎大学），日野圭子（宇都宮大学），【担当理事】大谷 忠（東京学芸大学），加藤久恵（兵庫教育大学），【幹事】向 平和（愛媛大学），【企画委員】泉 直志（鳥取大学），大野美喜子（産業技術総合研究所），川上 貴（西九州大学），北島茂樹（明星大学），木村優理（NPO法人東京学芸大こども未来研究所），小泉健輔（高崎健康福祉大学），島田和典（大分大学），高井吾朗（愛知教育大学），高藤清美（筑波学院大学），高橋一将（北海道教育大学），高橋 聡（東京理科大学），竹中真希子（大分大学），野添 生（宮崎大学），服部裕一郎（高知大学），林 敏浩（香川大学），谷塚光典（信州大学）

四国はひとつ，実行委員会の総力を挙げて第41回年会を盛り立てていく所存です．多数の皆様のご参加，ご来県を心よりお待ちしております．

第41回年会実行委員長 林 敏浩（香川大学）

2016 年度研究会開催のお知らせ

<お知らせ>

四国支部開催の研究会(2017年5月27日 愛媛大学)は中止となりましたのでご注意ください。

下記1件の研究会開催案内を掲載する。

(1) 第7回日本科学教育学会研究会(中国支部開催)平成29年6月3日(土)

研究会に関する情報は学会 Web ページに掲載しますので、ご覧ください。

(1) 平成28年度第7回日本科学教育学会研究会(中国支部開催)

[テーマ] 科学教育研究の未来を描く

[主催] 一般社団法人 日本科学教育学会

[後援] 岡山県教育委員会(予定)、岡山市教育委員会(予定)

[日時] 平成29年6月3日(土) 10:00~17:00

[会場] 就実大学教育学部

〒703-8516 岡山県中区西川原1丁目6番1号

[参加] 発表の有無にかかわらず参加できます。会員でない方もご参加いただけます。
参加費は無料です。

[発表申込] 発表者は本学会員のみです。連名の発表の場合には、連名者のうち少なくとも1人が会員である必要があります。発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば、会員として扱うこととします。発表を希望される方は、氏名、所属、発表題目、E-mail アドレス、電話番号、連絡先住所、使用機器を明記した E-mail を 2016 年度第7回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：福井広和(就実大学)までお送りください。

メール送付先 E-mail : fukui[at]shujitsu.ac.jp (福井広和)

発表申込締切は、平成29年5月1日(月)です。

[原稿提出] 発表原稿様式等については、発表申込があった方に E-mail にてお知らせいたします。
原稿提出締切は、平成29年5月8日(月)です。

多数の方々の申込をお待ちしております。

日本科学教育学会 中国支部長 藤井浩樹(岡山大学)

国際学会開催情報

今後、下記の国際学会が開催予定である。詳細については、各ホームページをご参照いただきたい。

SITE 2017 (Society for Information Technology and Teacher Education)

開催地：Austin, USA

期 間：2017年3月5日-9日

<http://site.aace.org/conf/>

ITEEA2017(The 79th Annual Conference, International Technology and Engineering Educators Association)

開催地：Dallas, USA

期 間：2017年3月16日-18日

https://www.iteea.org/Activities/Conference/ITEEA_Conference_2017.aspx

Digital World 2017

開催地：Nice, France

期 間：2017年3月19日-23日

<http://en.meet-in-nice.com/agenda/event/6173-digitalworld-2017>

NSTA (National Science Teachers Association) 2017

開催地：Los Angeles, USA

期 間：2017年3月30日-4月2日

<https://www.nsta.org/conferences/national.aspx>

NCTM Research Conference 2017 (National Council of Teachers of Mathematics)

開催地：San Antonio, USA

期 間：2017年4月3日-5日

<http://www.nctm.org/Conferences-and-Professional-Development/Research-Conference/>

NCTM Annual Meeting & Exposition 2017 (National Council of Teachers of Mathematics)

開催地：San Antonio, USA

期 間：2017年4月5日-8日

<http://www.nctm.org/Conferences-and-Professional-Development/Annual-Meeting-and-Exposition/>

Global Learn (Global Conference on Learning and Technology)2017

開催地：Brooking, USA

期 間：2017年4月17日-18日

<https://www.aace.org/conf/glearn/>

NexComm 2017

開催地：Venice, Italy

期 間：2017年4月23日-27日

<http://www.iaria.org/conferences2017/NexComm17.html>

NARST 2017 Annual International Conference

開催地：San Antonio, USA

期 間：2017年4月22日-25日

<https://www.narst.org/annualconference/2017conference.cfm>

AERA Annual Meeting (American Educational Research Association)

開催地：San Antonio, USA

期 間：2017年4月27日-5月1日

<http://www.aera.net/Events-Meetings/Annual-Meeting>

ICMT 2 (International Conference on Mathematics Textbook Research and Development)

開催地：Rio de Janeiro, Brazil

期 間：2017年5月7日-11日

<http://www.sbm.org.br/icmt2/>

InfoSys 2017

開催地：Barcelona, Spain

期 間：2017年5月21日-25日

<http://www.iaria.org/conferences2017/InfoSys17.html>

CSCL2017 (International Conference on Computer Supported Collaborative Learning)

開催地：Philadelphia, USA

期 間：2017年6月20日-22日

<https://cscl17.wordpress.com>

The 48th Annual ASERA (Australasian Science Education Research Association) Conference

開催地：Sydney, Australia

期 間：2017年6月27日-30日

<https://www.uts.edu.au/about/faculty-arts-and-social-sciences/what-we-do/events/asera-conference-2017>

EdMedia2017 (World Conference on Educational Media and Technology)

開催地 : Washington, DC

期 間 : 2017年6月21日-23日

<https://www.aace.org/conf/edmedia/call/>

ICTMT 13 (The 13th International Conference on Technology in Mathematics Teaching)

開催地 : Lyon, France

期 間 : 2017年7月3日-6日

<https://ictmt13.sciencesconf.org/>

International Conference on Education and Information Systems, Technologies and Applications
(EISTA 2017)

開催地 : Orlando, Florida, USA

期 間 : 2017年7月8日-11日

以下の学会と共催

The 11th International Multi-Conference on Society, Cybernetics, and Informatics: IMSCI 2017

The 21st World Multi-Conference on Systemics, Cybernetics and Informatics: WMSCI 2017

The 10th International Multi-Conference on Engineering and Technological Innovation: IMETI 2017

<http://www.iiisconferences2017.org/eista>

International Congress on Advanced Applied informatics

開催地 : 浜松, 日本

期 間 : 2017年7月9日-13日

<http://aai2017.iaiai.org/>

PME 41 (International Group for the Psychology of Mathematics Education)

開催地 : Singapore

期 間 : 2017年7月17日-22日

<http://math.nie.edu.sg/pme41/>

ESERA (European Science Education Research Association)

開催地 : Dublin, Ireland

期 間 : 2017年8月21日-25日

<https://www.eiseverywhere.com//ehome/129430>

21st International Conference on Knowledge Based and Intelligent Information and Engineering
System (KES2017)

開催地 : Marseille, France

期 間 : 2017年9月6日-8日

<http://kes2017.kesinternational.org>

E-LEARN 2017 - World Conference on E-Learning

開催地：Vancouver, Canada

期 間：2017年10月17日-20日

<https://www.aace.org/conf/elearn/>

PME 42 (International Group for the Psychology of Mathematics Education)

開催地：Umeå, Sweden

期 間：2018年7月3日-8日

<http://www.igpme.org/index.php/annual-conference>

国際学会参加報告 (39)

- International Conference on Educational Technologies 2016 -

AustraliaのMelbourneで2016年12月6日から8日に開催された国際会議International Conference on Educational Technologies 2016 (ICEduTech)に参加した。Melbourneの12月は真夏の季節で、日差しが強く昼間は気温が30度を上回る日もあったが、雨が降ったり天候が崩れると、昼間でも10度程度まで下がり、1日の中の気温差がかなり大きかった。

さて、この国際会議はIADISが運営する国際会議の一つである。IADISが運営する国際会議は、主に欧州で開催されるが、時々欧州以外の地域で開催されることもある。参加者はおよそ80名程度で、欧州からはもちろん米国、中東、アフリカ、アジアの国々等世界各地の人々が参加していた。10年ほど前に参加したIADISが運営する国際会議は、300名以上が参加し活気に溢れていたが、年々参加者が減少している。日本からも毎回数件の発表があり十数名が参加していた。

クロージングセッションで表彰された研究の一つに、初等教育においてロボットを用いたプログラミング教育の実践研究があった[Eugenia Smyrnova-Trybulska, Nataliia Morze, Piet Kommers, Wojciech Zuziak and Mariia Gladun(2016); EDUCATIONAL ROBOTS IN PRIMARY SCHOOL TEACHERS' AND STUDENTS' OPINION ABOUT STEM EDUCATION FOR YOUNG LEARNERS (F150)].ポーランドの小学校での教育実践である。イギリスでは、主に5、6歳児のクラスで10年以上前から情報教育(かつてはICT education, 現在はプログラミング教育)においてロボットを用いた授業実践が、正規の授業カリキュラムの中で実践されて来ている。その実践は高く評価され、最近では欧州のほとんどの国の小学校の低学年で、ロボットを用いたプログラミング教育が行われている。今回表彰された研究発表はSTEM教育の一環として取り組まれているカリキュラムにおいて行われていた。ロボットを用いたプログラミング教育は、小学校の低学年の子どもであっても意欲的に取り組んだとのことである。

私は、ローゼンバーグのセルフエスティームの高低とSNSの利用傾向の違いとについて発表した[Hiroko Kanoh(2016); ANALYSIS OF USAGE TRENDS OF SOCIAL MEDIA AND SELF-ESTEEM BY THE ROSENBERG SCALE (P177)].セルフエスティーム高群はFacebookやLINEを好む傾向があり、セルフエスティーム低群はTwitterを好む傾向が見られた。

下記の写真1は、クロージングセッションの最後まで参加したメンバーによる集合写真である。日本人も10名以上参加していたが、クロージングの写真撮影まで残っていたのは2名だけであった。写真2は今回学会が開催された RMIT (Royal Melbourne Institute of Technology) の校舎の一つである。最先端のテクノロジーを目指していることを象徴しているかのように、非常に先進的なデザインの建物であった。



写真1 参加者メンバーによる集合写真

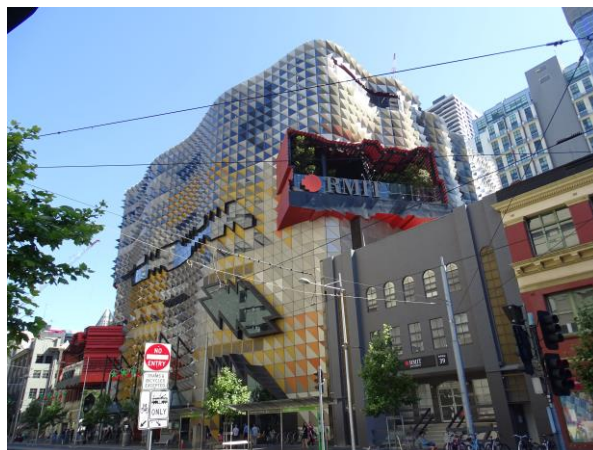


写真2 今回学会が開催された RMIT (Royal Melbourne Institute of Technology) の校舎

(山形大学学術研究院・加納寛子)

「2016 年度日本科学教育学会第 4 回研究会」報告

2016 年 12 月 17 日、「次世代の科学教育研究」をテーマに若手活性化委員会主催による第 4 回研究会が、京都大学吉田キャンパスにおいて開催されました。今年はポスターマッドネス&セッションに加え、チュートリアル「次世代の科学教育とアクティブ・ラーニング」も実施いたしました。参加者は総勢 50 名を超える、熱気に満ちた会となりました。

チュートリアルでは、益川弘如先生（静岡大学）を講師にお招きして、アクティブ・ラーニングに関する最新の動向をご教授いただきました。学習科学という立場から見たアクティブ・ラーニングについて学ぶとともに、「雲のでき方」を事例とした知識構成型ジグソー法の体験を通して、アクティブ・ラーニングの理論と実践について学ぶことができました。

ポスターマッドネスでは、30 秒という短い時間の中で、発表者の個性に溢れたプレゼンテーションが行われ、自身の研究の魅力を効果的に伝えていました。その後のセッションでも、参加者同士の活発な議論が行われ、大いに盛り上がっていました。今回のベスト・プレゼンテーション受賞者は以下の 4 名です。

- ・若林和也（神戸大学）：
中学校理科の教師用指導書における教師の学習支援：支援の内容に着目した分析事例
- ・神山真一（神戸大学附属小学校）：
小学校理科における反転授業プログラムの開発：小学校第 5 学年「電流の働き」の事例
- ・関口有人（宇都宮大学）：
環境学習を支援するデジタルすごろくゲーム「里山 Life・アドミンズ」の開発
- ・新田 緑（島根大学）：
算数・数学科における授業分析方法に関する一考察 —算数・数学科でのアクティブ・ラーニングの実現を目指して—

去年に引き続き裏企画として行われた「お土産選手権」も好評でした。今回の優勝は「広島県の生もみじ」、準優勝は「兵庫県姫路の玉椿」でした。

若手活性化委員会では、このようなイベント運営に携わっていただく大学院生、学部生のボランティア参加者を毎回募っています。今回も、計 7 名の皆様に会場設営、受付業務などを手伝っていただきました。ボランティア後の感想では、「研究会の運営に携わらせていただいたことで、多くの先生や他大学の方とお話することができ、多くを学ぶことができた」という声をいただき、有意義な体験になったと感じていただいております。これからもぜひ参加していただけたらと思います。本当にありがとうございました。

日本科学教育学会第 41 回年会 若手ワークショップ&懇親会予告

2017年8月29日(火)～31日(木)に香川県高松市で開催されます日本科学教育学会第41回年会において、ワークショップ、懇親会を開催予定です。若手研究者による精力的な発表や交流の助けになりますよう、楽しい企画を計画しております。開催予定日は初日になっております。情報は、若手活性化委員会 Facebook ページやメーリングリストで続々公開しております。どうぞご期待下さい。

(広島大学・雲財 寛)

『科学教育研究』編集状況報告

前号(230号)以降,編集理事会は開催されていないため,「科学教育研究」編集状況の報告のみ報告する。

1. 新規投稿論文(2016.11.1~2016.12.31):7編(内訳:和文7編,英文0編)
2. 査読中論文(2016.12.31現在):37編(内訳:担当編集委員選定中:3編,査読員選定中:3編,査読中(1回目):8編,総合判定中(2回目):2編,改訂稿待ち:10編,査読中(2回目):10編,編集委員による総合判定中(2回目):1編)
3. 掲載決定論文(2016.11.1~2016.12.31現在):7編(内訳:研究論文5編,資料2編(通算合計41-1:6編,41-2:2編))

次回,2016年度第3回編集理事会は,2017年3月18日(土),11:00~14:00,場所はコクヨ品川オフィスを予定している。

「科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況

(平成28年12月31日現在)

	新規投稿論文数(編)		審査中(編)		掲載決定論文数(掲載号)		招待論文数(掲載号)		掲載不可論文数	
	和文	英文	和文	英文	和文	英文	和文	英文	掲載不可	辞退
2016年 1月	6	0	31	1	3(40-1) 1(40-2)	0(40-1) 0(40-2)	0		5	1
2016年 2月	3	0	27	1	2(40-2) 0(40-3)	0(40-2) 0(40-3)	0		5	0
2016年 3月	8	0	22	1	5(40-2) 0(40-3)	0(40-2) 0(40-3)	0		8	0
2016年 4月	2	0	22	0	1(40-2) 0(40-3)	1(40-2) 0(40-3)	0		1	0
2016年 5月	4	0	20	0	1(40-2) 3(40-3)	0(40-2) 0(40-3)	0		2	0
2016年 6月	10	0	26	0	2(40-3) 0(40-4)	0(40-3) 0(40-4)	0		2	0
2016年 7月	4	0	23	0	0(40-3) 2(40-4)	0(40-3) 0(40-4)	0		4	1
2016年 8月	4	0	22	0	0(40-3) 2(40-4)	0(40-3) 0(40-4)	0		3	0
2016年 9月	19	0	41	0	0(40-3) 0(40-4)	0(40-3) 0(40-4)	0		0	0
2016年 10月	6	0	40	0	3(40-4) 1(41-2)	0(40-4) 0(41-2)	0		3	0
2016年 11月	4	0	40	0	2(41-1) 0(41-2)	0(41-1) 0(41-2)	0		2	0
2016年 12月	3	0	37	0	4(41-1) 1(41-2)	0(41-1) 0(41-2)	0		4	0

広報委員会からのお知らせ

科学教育研究レター第 231 号をお届けします。一般社団法人日本科学教育学会の広報活動についてお気づきの点などがございましたら、学会 Web サイトにある「お問い合わせ」をご利用のうえ、お知らせください。

担当理事：	森田裕介（早稲田大）	舟生日出男（創価大）	
委員：	高橋 B. 徹（東京理科大）	村山 功（静岡大）	三宅志穂（神戸女学院大）
	鈴木栄幸（茨城大学）	荻原 彰（三重大）	大寫竜午（千葉大）
	向 平和（愛媛大学）	辻 宏子（明治学院大）	
幹事：	石崎友規（常磐大）	内ノ倉真吾（鹿児島大）	
	辻山洋介（千葉大）	小松孝太郎（信州大）	

科学教育研究レター編集 日本科学教育学会広報委員会

一般社団法人日本科学教育学会

Japan Society for Science Education

URL : <http://www.jsse.jp>

□ 事務局 中西印刷（株） 学会部 内

TEL : 075-415-3661 FAX : 075-415-3662

E-mail : [jsse\[at mark\]nacos.com](mailto:jsse[at mark]nacos.com)

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

□ 編集事務局（論文投稿・査読編集）

TEL : 075-415-3155 FAX : 075-417-2050

E-mail : [jsse-hen\[at mark\]nacos.com](mailto:jsse-hen[at mark]nacos.com)

中西印刷（株） 学会部 内

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

郵便振替口座：00170-6-85183 日本科学教育学会

銀行口座：みずほ銀行 京都中央支店 普通 2269008 日本科学教育学会